

令和2年9月高浜市議会定例会会議録（第3号）

日 時 令和2年9月7日午前10時

場 所 高浜市議場

議事日程

- 日程第1 議案第55号 高浜市都市計画事業基金の設置及び管理に関する条例の制定について  
議案第56号 高浜市空家等の適切な管理に関する条例の制定について  
議案第57号 市道路線の認定について  
議案第59号 事業契約の締結について
- 日程第2 議案第60号 令和2年度高浜市一般会計補正予算（第8回）  
議案第61号 令和2年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2回）  
議案第62号 令和2年度高浜市土地取得費特別会計補正予算（第1回）  
議案第63号 令和2年度高浜市公共駐車場事業特別会計補正予算（第1回）  
議案第64号 令和2年度高浜市介護保険特別会計補正予算（第2回）  
議案第65号 令和2年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）
- 日程第3 認定第1号 令和元年度高浜市一般会計歳入歳出決算認定について
- 日程第4 認定第2号 令和元年度高浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第3号 令和元年度高浜市土地取得費特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第4号 令和元年度高浜市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第5号 令和元年度高浜市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第6号 令和元年度高浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第5 議案第58号 令和元年度高浜市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について  
認定第7号 令和元年度高浜市水道事業会計決算認定について
- 日程第6 認定第8号 令和元年度高浜市下水道事業会計決算認定について
- 日程第7 決算特別委員会の設置

本日の会議に付した案件

議事日程のとおり

出席議員

1番	荒川 義孝	2番	神谷 直子
3番	杉浦 康憲	4番	神谷 利盛
5番	岡田 公作	6番	柴田 耕一

7番 長谷川 広 昌  
9番 柳 沢 英 希  
11番 北 川 広 人  
13番 今 原 ゆかり  
15番 内 藤 とし子

8番 黒 川 美 克  
10番 杉 浦 辰 夫  
12番 鈴 木 勝 彦  
14番 小 嶋 克 文  
16番 倉 田 利 奈

欠席議員

な し

説明のため出席した者

市 長	吉 岡 初 浩
副 市 長	神 谷 坂 敏
教 育 長	都 築 公 人
企 画 部 長	深 谷 直 弘
総合政策グループリーダー	榊 原 雅 彦
秘書人事グループリーダー	杉 浦 崇 臣
ICT推進グループリーダー	山 下 浩 二
総 務 部 長	内 田 徹
行政グループリーダー	板 倉 宏 幸
行政グループ主幹	久 世 直 子
財務グループリーダー	竹 内 正 夫
財務グループ主幹	清 水 健
市 民 部 長	磯 村 和 志
市民窓口グループリーダー	中 川 幸 紀
経済環境グループリーダー	田 中 秀 彦
経済環境グループ主幹	東 條 光 穂
税務グループリーダー	亀 井 勝 彦
税務グループ主幹	都 筑 達 明
福 祉 部 長	加 藤 一 志
地域福祉グループリーダー	加 藤 直
介護障がいグループリーダー	野 口 恒 夫
福祉まるごと相談グループリーダー	野 口 真 樹
健康推進グループリーダー	内 藤 克 己
健康推進グループ主幹	鈴 木 美 奈 子
こども未来部長	木 村 忠 好

こども育成グループリーダー	磯村 順 司
文化スポーツグループリーダー	鈴木 明 美
都 市 政 策 部 長	杉 浦 義 人
土木グループリーダー	杉 浦 睦 彦
都市計画グループリーダー	島 口 靖
防災防犯グループリーダー	神 谷 義 直
上下水道グループリーダー	清 水 洋 己
上下水道グループ主幹	石 川 良 彦
会 計 管 理 者	三 井 まゆみ
学校経営グループリーダー	岡 島 正 明
学校経営グループ主幹	鈴 木 剛
監査委員事務局長	山 本 時 雄
代 表 監 査 委 員	伴 野 義 雄

職務のため出席した議会事務局職員

議 会 事 務 局 長	大 岡 英 城
副 主 幹	神 谷 直 子
主 査	杉 浦 幸 宏

議事の経過

○議長（杉浦辰夫） 皆さん、おはようございます。

本日も円滑なる議事の進行に御協力のほど、お願い申し上げます。

午前10時00分開議

○議長（杉浦辰夫） ただいまの出席議員は全員であります。よって、これより会議を開きます。お諮りいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定して御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉浦辰夫） 御異議なしと認めます。よって、本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定いたしました。

これより本日の日程に入ります。

なお、審議の途中において、執行部のグループリーダー等が席を移動することがありますので、あらかじめ御了承をお願いします。

○議長（杉浦辰夫） 日程第1 議案第55号から議案第57号まで及び議案第59号を会議規則第34条の規定により一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、第何号議案であるかをお示しいただきますようお願いいたします。

11番、北川広人議員。

○11番（北川広人） それでは、議案第55号 高浜市都市計画事業基金の設置及び管理に関する条例についてお伺いをしたいと思います。

提案説明の中で、積み立てた余剰金というのは、後の事業費に充てるというような答弁があった、説明があったと思いますけれども、その後に予定されている都市計画事業について、どのようなものがあるのかを確認したいと思います。

○議長（杉浦辰夫） 都市政策部長。

○都市政策部長（杉浦義人） 今後の都市計画事業の予定でございますが、まず1点目は、公共下水道事業でございます。公共下水道全体計画890ヘクタールのうち、令和元年度末の汚水整備面積は542ヘクタールで、整備率は60.9%であります。

今年度も呉竹町、それから屋敷町の整備を実施しており、令和3年度以降につきましても下水道計画に基づき順次未整備区域の整備を進めていきたいと考えております。

次に2点目は、大規模雨水処理施設整備でございます。

9月3日の岡田議員の一般質問でもお答えをさせていただきましたが、中吉樋門と樋門に通ずる排水路、こちらの抜本的な改修を現在手法を含め検討しているところでございます。

この整備に当たっても、都市計画事業として整備を進めていきたいと考えておりますので、よろしく願いをいたします。

以上でございます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

11番、北川広人議員。

○11番（北川広人） ありがとうございます。

下水道事業とそれから雨水処理の事業、特に中吉樋門の改修というところで今答弁いただきましたけれども、雨水対策事業というのは、特に排水ポンプなどを考えると、それこそ億とか10億円とかという数字になる可能性もあるのかなということを思いますけれども、それだけかかるけれども、雨水対策事業というのは進めていきたいというふうに考えてよいのかどうかというところと、それから都市計画税というものは、そもそも充当できるものなのかというところもお答えいただければと思います。

○議長（杉浦辰夫） 都市政策部長。

○都市政策部長（杉浦義人） 議員おっしゃるとおりでございます。

雨水対策事業としても進めていきたいという考えでございます。

以上でございます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

11番、北川広人議員。

○11番（北川広人） それでは、やっていくべき事業だというふうには思いますので、今の答弁をしっかりと受け止めたいとは思いますが、都市計画税というのは、例えば高浜市のホームページで見ると、「都市計画税とは」ということで説明が書いてあります。読むと長いものですからあれですけども、要は市街化区域内のところに対しての計画というところがどうしても読み取れてしまう説明文書になっておるんですよね。

今後の都市計画事業の計画というものであったり、それからそういうものに使っていくという用途の明確化、そういったものもしっかりとホームページ等でもいいですし、市民の方々に分かるように公表していくべきではないかなというところを思います。

というのは、自ら出した税金が特に都市計画税の場合は、自分のところに恩恵がないんじゃないかと思われる方が非常に多いんですよね。

ただ、先ほど答弁いただいた今後も考えている事業ということを見ると、下水に関しても、それから雨水対策に関しても、高浜市の安全だとか、それから公共性を高めるという部分に関しては、これは多くの市民の方々のためになるものであるという認識でいいというふうに思うんですけども、そういったところにも使われているんだというところは、お知らせをしていくべきかなというふうに思いますけれども、それに対してはどのようにお考えでしょうか。

○議長（杉浦辰夫） 財務グループ。

○財務G（竹内正夫） 貴重な御意見ありがとうございます。

今は、現段階では主要成果のほうで今の事業に充当しているのかということは公表させていただいておりますが、ほかの手段も検討していきたいというふうに思っております。

よろしく申し上げます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

11番、北川広人議員。

○11番（北川広人） ありがとうございます。

高浜の市議会に対しましては、主要成果という形でお示しをいただいております。他市では、どことは言いませんけれども、主要成果というような書類をつくっていない行政もあって、どこにどのように使われているのかということが分からない行政も実際あるわけです。そういったところを含めると、我々議員もしっかりと説明していくつもりでありますけれども、ぜひとも行政からもしっかりと発信をしていただきたいというふうに思います。

以上です。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

8番、黒川美克議員。

○8番（黒川美克） それでは、議案第55号について質問させていただきます。

なぜ9月定例会でこの条例案を提案されたのか、その理由と令和2年度の都市計画税の課税額と充当事業ごとの金額を教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 財務グループ。

○財務G（竹内正夫） まず、なぜ基金を設置しなければいけないのかということでございます。

提案説明でも御説明をさせていただいておりますけれども、都市計画税の収入が都市計画事業に要する費用額を上回って余剰金が生じることになったということで、そこをしっかりとお示しをしていくということで、基金を設置させていただいたということになります。

令和2年度におけるということでございますが、少しお待ちください。

○議長（杉浦辰夫） 総務部長。

○総務部長（内田 徹） まず、率のほうについて、先に私のほうからお答え申し上げます。

令和2年度当初予算の予算特別委員会におきまして、充当率については97.9%ということでお答えをいたしております。

○議長（杉浦辰夫） 続いて財務いいですか。

財務グループ。

○財務G（竹内正夫） すみません、今、手元にございませぬので、後ほど回答させていただきます。

○議長（杉浦辰夫） 8番、黒川美克議員。

○8番（黒川美克） 今、公共下水道事業と、それから大規模の雨水事業、その2つの事業だということは答弁があったんですけども、今後、区画整理事業だとか、そういったものは全然考えてみえないわけでしょうか。お答えください。

○議長（杉浦辰夫） 都市政策部長。

○都市政策部長（杉浦義人） 区画整理事業に関しましては、今のところ、検討しているものはないでございます。

○議長（杉浦辰夫） 8番、黒川美克議員。

○8番（黒川美克） 今、区画整理事業については検討していないという話だったんですけども、これからずっと考えていきますと、いわゆるまちづくりだとか、そういったことをやっていったときに、やっぱり都市計画事業の基本は区画整理事業なんですね。

そうすると、災害だとか、そういったものが起きたときに、いかに高浜市を復興させていくか。東北の震災などでもそうなんですけれども、ほとんどが震災事業のものは区画整理だとか、そういったことをやってまちづくりをしとるわけですね。

ですから、当然そういったことも今後まちづくりや何かのことを考えていきますと、きちっと計画や何かを作っていくのが私は必要だと思いますけれども、いかがでしょうか。

○議長（杉浦辰夫） 都市政策部長。

○都市政策部長（杉浦義人） 区画整理事業に関しましては、議員も御存じのように、地権者の方、そちらの方の当然意思、それからまた同意、そういったものが必要になってくると思います。

昨今の区画整理事業では、ほとんど地権者の方、全員の同意がないとなかなか難しいということもお聞きしておりますので、そういった点も含めて本当に必要なのか。先ほど申された防災の面からも必要なのかということは考えた上で、結論は出していきたいと思いますが、今のところは予定しているところはありません。

○議長（杉浦辰夫） 8番、黒川美克議員。

○8番（黒川美克） 今のところは考えていないという話なんですけれども、災害はいつ起きるか分かりません。そのときに、復興させるときに、区画整理事業なくして復興はできるんでしょうか。

○議長（杉浦辰夫） 副市長。

○副市長（神谷坂敏） 区画整理事業の将来的な可能性まで否定しているわけではございませんが、最近の高浜市の状況をみますと、多少凸凹はしておりますが、今、人口減少の局面に入っている部分があります。そういったところも判断をしながら、必要があるときはやっていくということはあるかも分かりませんが、現段階では区画整理事業を進めていく予定はありません。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

財務グループ。

○財務G（竹内正夫） 令和2年度の状況でございます。下水道事業に7億9,200万円程度、それから地方債の償還ということで500万円程度が大体充当の対象事業となります。

都市計画税収入につきましては、予算額であります7億8,000万円で見込んでいるところでございます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） 議案第59号 事業契約の変更についてお伺いいたします。

高浜小学校の整備事業費が建設物価指数の上昇により6,000万円、7,000万円上昇しているということなんですけれども、こちらちょっと契約書のほうを見てもよく分からなかったんですけれども、細かい内容ですね。なぜこの金額になったのかという部分について、細かく御説明いただきたいんですが、お願いします。

○議長（杉浦辰夫） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） 高浜小学校の整備事業の建設物価の変動リスクにつきましては、事

業契約書に記載があります。サービスの対価の改定方法というところに書かれておるんですけども、基本的に提案時と各業務着工時、第1期工事、2期工事等、この各業務着工時期の建築指数を比較して、1.5%以上の差が生じた場合には、生じた差分についてサービス対価の改定を行うというふうに規定されておまして、例えば今回の場合でいきますと、2期工事の物価変動率が5.3%上昇しております。そこから1.5%を引いた3.8%が物価変動の上昇になるということでございます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） ちょっと教えていただきたいんですけども、高浜小学校等整備事業の事業契約約款というところに、表3、4、5となっております。表3が設計及び建築工事管理業務のサービス対価の金額及び支払いスケジュールで、次が維持管理費、それからもう1個がその他の費用ということで、支払いスケジュールが平成31年3月から平成46年2月まで一覧で載っているんですね。

今回、この契約の変更があるということで、この一覧のところは全部金額が変わってくるのかなと予測されるんですけども、そのあたりがどのように変わるかという部分と、あとやはりこれ長期財政計画とか、年度ごとの歳出の重要な大きい金額が出ることなので、重要な部分になるかと思っておりますので、やはりこの契約変更があれば、こうしたスケジュール表は議員のほうにしっかり資料として示していただく。

それから、この金額が変更になった部分についても、計算式についてもしっかりお示しいただきたいと思うんですけども、いかがでしょうか。

○議長（杉浦辰夫） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） まず支払いスケジュールのところの表を設計及び建設工事管理、維持管理とか、いろいろ分かれているんですけども、その中で今回のものにつきましては、建設に要するお金ということで、一時支払金、要は今後ずっとその金額をずらしていくのではなくて、竣工を10月6日にしますので、それに対する一時支払金として一括で支払うお金となっております。

先ほど言われたとおり、議案説明会では数字のほうは細かく説明させていただいたんですけども、資料は提示してなかったということで、分かりにくいというのであれば、提出しますけれども、口頭で説明して分かるようであればそれで御理解いただきたいと思っております。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） やはり金額については、スケジュールの変更がある部分については、その変更部分だけでも結構ですので、議員のほうに示していただきたいのと、今、一時支払金という



お話があったかと思うんですけども、この一時支払金ですね。3回一時支払金があるんですけども、そうすると、今後の一時支払金ということで、これは平成33年4月の一時支払金の変更ということでよろしかったでしょうか。

○議長（杉浦辰夫） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） 今回は、一時支払金3回あるといますのは、1期工事、2期工事、3期工事というふうに分かれまして、これで3回に分かれています。

今回、当初でしたら今年の9月に一時支払金を払う予定でしたが、これが2カ月ほどずれておりますので、今回は11月に払う一時支払金ということになります。

○議長（杉浦辰夫） 16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） 今、平成32年の11月に一時支払金がずれたということですが、平成32年11月というのは、支払い時期もあるんですけども、そうするとその部分にプラスアルファされて平成32年11月に関しては多額な金額を支払うという理解でよろしいのでしょうか。

○議長（杉浦辰夫） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） そういう理解で結構でございます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

〔発言する者なし〕

○議長（杉浦辰夫） ほかに質疑もないようですので、これをもって議案第55号から議案第57号まで及び議案第59号の質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案第55号から議案第57号まで及び議案第59号については、会議規則第36条第1項の規定により、お手元に配付してあります議案付託表のとおり各常任委員会に付託いたします。

---

○議長（杉浦辰夫） 日程第2 議案第60号から議案第65号までを会議規則第34条の規定により一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、第何号議案であるかと、ページ数及び款・項・目・節をお示しいただくようお願いいたします。

16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） まず、債務負担行為についてお伺いしたいんですけども、こちら、この債務負担行為を補正予算書及び説明書を見ると、事項のところには土地開発公社による公共用地先行取得に要する経費とだけ書かれておりまして、グループ名も書かれていないんですね。

でもって、議案説明会で、特にどこの土地をどのグループが取得する予定かということも説明がありませんでしたし、議案の委員会の一覧についても載っていなかったんですけども、これはちょっとどうも聞いたらこどもグループということなんですが、どちらの委員会になるかとい

うことをまず確認したいと思うんですけれども。

○議長（杉浦辰夫） 議会事務局長。

○議会事務局長（大岡英城） 両方にもかぶっていきますので、この総括質疑で質問していただければと思いますので、よろしくお願いたします。

○議長（杉浦辰夫） 16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） ちょっと委員会付託されないという理解になるんですけれども、よろしいんでしょうか。

○議長（杉浦辰夫） 議会事務局長。

○議会事務局長（大岡英城） 債務負担行為の公社のものにつきましては、総務建設委員会になると思います。

○議長（杉浦辰夫） 副市長。

○副市長（神谷坂敏） 将来的な活用方法として、こども園での活用を考えておりますが、今、購入の段階でございますので、総務建設委員会のところでお話をいただければと思います。公社担当が答えをいたします。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 今の債務負担行為に関する質問なんですが、これ、土地開発公社による用地先行取得ということなんですが、この元の土地はどれくらいあって、利子は幾らになって、経費はどれくらいかかっているのか教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 都市計画グループ。

○都市計画G（島口 靖） お答えいたします。

まず、債務負担行為の中の用地取得費3,817万6,000円の内訳でございますが、こちらのほうにつきましては、用地費が約3,700万円、そのほかが契約用の印紙代であったり、あと測量費の経費でございます。

あと、この中にこの金額と経費及び利息に相当する金額と書いてございますが、これにつきましては、土地開発公社が取得した後に、市のほうに再取得をするまでの経費と利息でございますので、よろしくお願いたします。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） もうこの間、土地開発公社に先行取得させるということなんですが、総合管理計画ですか、公共施設の総合管理計画などについては、必要ないものはもう使わないというようなことも言ってみえますが、ここを何に使うのか、まずそのことと、それから急にこの話が出てきましたが、いつごろから市が買う話が、市というか土地開発公社が買う話が出ていたの

か教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 都市計画グループ。

○都市計画G（島口 靖） まず1点目の質問でございますけれども、何に使うのかでございますが、こちらのほうにつきましては、幼保園の用地ということで購入のほうを予定してございます。

あと、いつぐらいから土地所有者の方とお話をしておるかという御質問でございますが、これにつきましては、今年の当初ぐらいから、1月ぐらいからお話のほうをさせていただいております。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 幼保園のほうで使うということなんですが、そうすると令和2年から令和6年の間に市が買い取るということになるんですが、この後ですぐ建てるという計画があるのでしょうか。

○議長（杉浦辰夫） こども育成グループ。

○こども育成G（磯村順司） この土地について、幼保園のほうで5年以内、5年後も含めてで速やかに何かをここの土地を使うという予定は、今のところございません。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） すぐというか、この4年間を含めて5年ぐらいの間に次に何か建てる予定はないというお話ですが、そうしたら、土地開発公社にこれがどうしても必要な土地だとしても、土地開発公社が先行取得しなくとも、一般会計で購入してもいいんじゃないかと思いますが、その点ではいかがお考えですか。

○議長（杉浦辰夫） 都市政策部長。

○都市政策部長（杉浦義人） 今回の土地でございますが、先ほど御答弁させていただきましたとおり、すぐには使わないという予定でございますので、そのことを鑑みまして、先行取得ということで公社のほうで先行取得させていただくということで、公社のほうで購入を考えているものでございます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） だからどうしても、確かにあそこの土地があれば、幼稚園の駐車場、何か使っても便利にはなると思うんですね。ですけども、その予定がないのに購入する、先行取得するということは、ちょっと問題ではないかと思ひますし、一般会計で購入することでも何億円というお金がかかるわけではありませぬので、できると思うんですが、その点ではどのように考

えてみえるんでしょうか。

○議長（杉浦辰夫） 副市長。

○副市長（神谷坂敏） 今回、一応公社のほうで先行取得という形を取らせていただいて、5年間の間でどうするかを決めたいと思います。

要は、今、コロナ禍の中で、個人の市民税も来年度は当然厳しいと思っています。法人市民税は既にもう今年度から影響が出ているという中で、少し全体を見て、その時期的なところは判断をしたいし、仮に一般会計に買い戻すときに、税収のほうは厳しいということであれば、起債を充てるということも将来的にできますので、その辺のところ融通性を今考えておるといっていただければと思います。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） なぜ土地開発公社による購入になるのかという点がどうもはっきりしないんですが、一般会計で買えば3,700万円以外の費用についてはかからないわけですし、とりあえずじゃあその土地を購入して、とりあえずは何に使う予定なんでしょうか。

○議長（杉浦辰夫） 都市計画グループ。

○都市計画G（島口 靖） まず土地開発公社が取得して、その際につきましても、土地開発公社につきましても、単に保有しているだけではなく、積極的に利活用を促すという土地開発公社の解説書の定めもございまして、この立地条件等も踏まえて、状況に応じて園の送迎用の例えば駐車場だとか、そういうような形での利用ということも行っていきたいというふうには考えております。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 送迎用の駐車場に使うのであれば、先ほども言いましたけれども、一般会計で購入しても問題はないと思うんですが、なぜその土地開発公社に用地取得させるのか。今でも駐車場として使っていますので、十五、六台ですかね、入りますけれども、使えるわけですから、土地開発公社で購入しなきゃならないという理由がどうもはっきりしないんですが、教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 副市長。

○副市長（神谷坂敏） 財政的なところは先ほどお答えしたとおりであります。

一般会計が直接買えば、その事業に起債は充てることができません。将来的な費用の平準化のために、一旦土地開発公社で買って、その後の税収の状況を見て判断をしたいということで、その辺の判断は先送りをしたということでもあります。

少しいろいろ疑問をお持ちのようなので、私、土地開発公社の理事長として、今回の土地の購

入をしたいきさつのところを少し答弁させていただきます。

まず、当初は、高小の整備事業の市民の方の出入り口の拡充がしたいということで、一定の今は進めてということですが、少し拡幅をしたいのでということで、まずは交渉を持ちました。

そのときの地主さんのお答えは、一体的な活用をしたいのでということでありました。当時、御案内のとおり、倉庫がありまして、建物の補償をしてまで土地を購入するというのは非常に財政負担が重いので、その時点では市としては見送らせていただきました。

その後、今年になってから倉庫が取り壊されましたので、再度交渉をして、今回このように議案のほうを上程させていただきますが、私どもとしては、青木通りと地続きになる土地ですので、この際、千載一遇のチャンスだということで進めてまいりましたので、よろしく願いいたします。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） いきさつは分かりましたが、土地開発公社によらない、先行取得でないと買えない、購入できないという理由がどうもはっきりしないんですが、一般会計では購入できない、先ほど何か言われましたが、ちょっとそのあたりがはっきりしないので、もう一度お願いします。

○議長（杉浦辰夫） 副市長。

○副市長（神谷坂敏） 一般会計で購入できます。できないということはありませんが、起債、借金をして買うことは一般会計ではできません。

先ほど申し上げたように、税収の先行きが不透明なので、その辺のところは一旦様子を見させていたきたいということでもあります。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 借金をしていろんな入ってくる関係が不透明なのでというお話しありましたが、3,700万円のお金が今の市の会計の中で出せないというふうには思えないんですが、その点、わかるように教えて示していただけますか。

○議長（杉浦辰夫） 総務部長。

○総務部長（内田 徹） 先ほど副市長から、今コロナ禍の中で今後市民生活支援、地域経済支援、こういった対応も必要になってまいります。

今回、9月補正後の基金残高が、これは議員にも資料をお示ししておりますが、14億8,400万円です。これは前年度の繰越金を加えての金額でございますが、概ね過去9月議会の補正予算ですと、18億円、19億円、約20億円近い基金残高が確保できておりまして、そうした中で今後市税の減収も見込まれると。

また、財政調整基金を場合によっては取り崩しての財政運営を強いられることもございます。できる限り基金残高は確保しておきたいという考えもございますので、よろしく願いいたします。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） 一般補正予算の10款4項1目幼児教育費、幼稚園長寿命化計画策定業務委託料なんですけれども、こちらなぜ当初予算に計上されなかったのか。また、対象施設をもう一度確認したいと思います。

○議長（杉浦辰夫） こども育成グループ。

○こども育成G（磯村順司） まず、この予算の今なぜこのタイミングで上げたのかというところがございますけれども、もう一つの質問の対象施設は何かというところで、吉浜幼稚園と高浜南部幼稚園というところがございますけれども、こちら保育園、幼稚園等と今後の計画というところで、昨年度子ども・子育て支援事業計画のほうを作成しております。

その計画におきまして、とにかくこの両幼稚園の今後の方向、例えば民営化するだとか、そういうことも含めていろいろ様々な検討をした結果、昨年度、この計画を作ったものでございます。

その方向性によりまして、この大規模改修等の補助金活用について影響があるというところがございますので、そういった計画結果を踏まえて作成をするというものでございましたので、それで昨年度作りましたところ、吉浜幼稚園、高浜南部幼稚園については、幼稚園として維持していくということもありますので、今回それに合わせて大規模改修をする、また補助金を活用していくというところを踏まえて、この計画策定の委託を計上させていただいたものでございます。

○議長（杉浦辰夫） 16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） どこを民営化するかどうかというのは、もっと前から決まっていたので、今の御説明だと、よく理解できませんでした。

あと、今の御説明以上に何か説明があればお願いしたいのと、大山会館の長寿命化計画策定業務委託料は281万8,800円であったので、今おっしゃった吉浜幼稚園と南部幼稚園の2園、この委託料は2園であるとするなら、非常に安価ではないかと思われるんですね。

大山会館と幼稚園での金額の差について、分かるようにちょっと御説明お願いしたいと思えます。

○議長（杉浦辰夫） こども育成グループ。

○こども育成G（磯村順司） 先ほどの民営化とか、どういうふうに園を今後運営していくかと、そういったところを決めていくのがこの子ども・子育て支援事業計画というものでございますので、その前から決まっていたという話はないということだけ述べさせていただきます。

その上で、今回私どもが上げさせていただいておりますこの長寿命化計画、個別の施設ごとの

長寿命化計画、いわゆる個別施設計画という形になりますが、この中では、私どもがやるのは、例えば維持更新コストの算定ですとか、長寿命化、そういったものを進めていく実施計画の策定、そういったものになってございます。

こども育成のほうで上げさせていただいている委託の内容については以上でございます。

○議長（杉浦辰夫） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） 幼稚園長寿命化計画設計業務委託料に関して、大山会館の調査の費用ということでございますが、今回の幼稚園のほうは長寿命化計画、今、個別施設計画という名前が出ましたけれども、その計画の策定に要する費用ということで、昨年度私どものほうが予算を計上し、執行させていただきましたのは、基礎調査ということになりますので、建物の状況、設備の状況、そういったことを調査する費用ということでございます。

よろしく申し上げます。

○議長（杉浦辰夫） 16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） すみません、だからちょっと分からないんですね。基礎調査とおっしゃられたんですけども、今回の幼稚園に関しましては、今、個別支援計画というお話が出たかと思うんですけども、基礎調査を行った上でしか個別支援計画はできないと思うんですね。なので、今回の業務委託料に関しては、ちょっとこれは私の理解が合っているか分かりませんが、基礎調査プラス個別支援計画ではないかと思われるんですね。

ところが大山会館に関しては、今、基礎調査のみということで、私も資料を取り寄せましたが、基礎調査のみかなと思うんですけども、なので、ちょっと余りにも幼稚園が安過ぎてしまうのではないかと、これ、この業務委託料でいいのかという、ちょっと逆に不安があるんですけども、その辺りちょっと理解できるように御説明ください。

○議長（杉浦辰夫） こども育成グループ。

○こども育成G（磯村順司） 個別支援計画を策定するに当たって、どの程度のものを造ると国のほうが補助金の対象にしますよというものがある程度示されております。

私どものほうとしては、この建物を維持していくという中で、補助金を活用していきたい、そういったものの中で国が定める、少なくとも最低限の内容についてはカバーしていきましょと、そういったところでその内容を詰めて業者と見積り等々内容を詰めてやった結果がこれでございますので、その点についてはきちんと検討した結果だと思っております。

○議長（杉浦辰夫） 16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） 今の説明だと、国が定める最低限の補助金がもらえる支援等でカバー、だから吉浜幼稚園、南部保育園2園でこの281万円で私はすごく大丈夫かなと思ったんですけども、今後の大規模改修に際しても問題ない、大丈夫だということで安心していいということですかね、というところと。あと逆に言うと、大山会館に関しては基礎調査のみなので、国が定める

最低限のカバーなのかどうなのか、どの程度やられたのかを教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 倉田議員に申し上げます。

大山会館の件は、この議案から外れますので、今の幼稚園に関係する質疑でお願いいたします。  
こども育成グループ。

○こども育成G（磯村順司） 先ほども申しましたように、当然ながら補助金を活用できないレベルのものでないとだめですので、そういったものを踏まえて内容的に精査して、今後のかつ長寿命化として図っていく計画として必要なものを業者と精査した結果がこの結果でございますので、その点については大丈夫だと認識しております。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） 10款5項2目の生涯学習施設管理運営事業として、地区公民館活動事業費補助金として142万1,000円のマイナスが計上されていますが、これはコロナによる活動休止による補助金の返還でよかったですかということと、また、それであればまち協の返還金については、今後計上される予定かどうかもお聞かせください。

○議長（杉浦辰夫） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） 地区公民館活動事業費補助金については、議員おっしゃるとおりですが、返還ということではなくて、予算として計上はしてはしておりましたが、交付決定はしておらず不用額となりますので、これを今回減額させていただいたものでございます。

○議長（杉浦辰夫） 総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） 協の事業費の返還の部分についてでございますが、今回も既に市民予算枠事業交付金のところで未執行の確定した分については、返還をさせていただいております。今後も執行しないようなものについては、年度末で精算をしていく予定をしておりますので、よろしくをお願いいたします。

○議長（杉浦辰夫） 16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） すみません、ちょっと戻っちゃうんですけど、3款1項7目の介護施設等整備事業費補助金、介護施設に簡易陰圧装置の設置のためという説明があったかと思うんですけども、どこの施設に幾つそうした設備を配置するのか教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 介護障がいグループ。

○介護障がいG（野口恒夫） 介護施設等整備費補助金でございます。2カ所というふうに予定をしておりますが、まだ国の内示がちょっと出ておりませんので、その2施設についても、ちょっと今のところ申し上げるところではございませんので、御了承ください。

○議長（杉浦辰夫） 倉田議員、まだほかにありますか。まとめてお願いいたします。

○16番（倉田利奈） まとめてお願いいたします。



3款2項2目の保育サービス費の公共施設会場使用料なんですけれども、これ、コロナによって公共施設を活用されたのかなと想像するんですが、ちょっとどのような活用をされたのか、どこが活用したのか教えていただきたいのと、6款1項2目、7款1項1目、8款2項1目のそれぞれの会計年度任用職員管理事業の内容を教えていただきたい。

それから、10款2項1目と10款3項1目、2つに関わる学校管理費なんですけど、まず小学校のほうだけですね。デジタル教科書使用料がここで計上されているんですけども、こちらの詳しい内容と、あと2つに関わることで、GIGAスクールサポーター業務委託料の内容、それから教育用グループウェア出退勤システム導入業務委託料の内容、それぞれ詳しく教えていただきたいと思います。

○議長（杉浦辰夫） こども育成グループ。

○こども育成G（磯村順司） まず保育園管理運営事業の公共施設の会場使用料ということでございますけれども、これから入園説明会等、また園児に対する面接等控えている中で、これまでどおりのやり方ですと、コロナの関係がありますので、そういったところを少なく密を避けるためにということで、会場、やっぱり説明会ですとちょっと多目に設けたりですとか、別の場所を設けて、独立した場所でやって密を避けるですとか、そういったこともいろいろ考慮しながらやっていくと、今ある予算では少し足りないというところになってきますので、こちら会場使用料を計上させていただいたものでございます。

○議長（杉浦辰夫） 秘書人事グループ。

○秘書人事G（杉浦崇臣） 補正予算書71ページ、まず農業総務費の会計年度任用職員の内容ですが、これについては、まあ昨年度農務担当者として正規職員2名、会計年度任用職員2名の4名体制でありました。今年度については、当初正規職員3名、それと会計年度任用職員1名の4名体制とする予定でございましたが、実際には農務担当をした正規職員1名が昨年度末、急遽退職をしたことにより、正規職員が1名補充ができませんでしたので、4月から会計年度任用職員を本来1名としたところを2名任用したため、その不足分を補正するものでございます。

続いて、同じく71ページの商工総務費の会計年度任用職員につきましては、こちらは新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けまして、経済対策としての事業者への各種支援策の補助職員として、4月から会計年度任用職員1名を任用したことによる増額でございます。

続いて、同じく71ページの生活道路新設改良費の会計年度任用職員につきましては、4月に育児休業から復帰した正規職員が週24時間35分勤務の育児短時間勤務を選択したため、その勤務しない時間を補うため、会計年度任用職員1名を4月から任用したことによる増額でございます。

以上です。

○議長（杉浦辰夫） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） それでは、10款2項1目学校管理費の中で、デジタル教科書の使用

料でございますが、これは児童の学習保障ということで、遠隔授業を想定して、国語、理科、社会、算数のデジタル教科書を使用していく権利を払っていくというものでございます。

続きまして、GIGAスクールサポーターの業務委託料ということでございますが、こちらのGIGAスクールサポーターを配置しまして、端末を家庭へ持ち帰る場合の使用マニュアルの作成や保護者からの問い合わせに応じるヘルプデスクというのを委託し、学校現場のほうを支援していきたいというふうに考えております。

○議長（杉浦辰夫） 学校経営グループ主幹。

○学校経営G主幹（鈴木 剛） 10款2項及び3項の教育用グループウェア出退勤システム導入業務委託料ということでありますが、現在、教員の在校時間につきましては、各自が持っているエクセルのシートに自分が出勤をした時間、それから退勤をした時間を打ち込む形でこちらが把握をしているということになっています。

そんなところでありますが、改正給特法の施行に伴って客観的な方法で在校時間を……

○議長（杉浦辰夫） マイクをもう少し近づけて。

○学校経営G主幹（鈴木 剛） 客観的な方法で在校時間を管理していく、そういう必要が生じておりますので、それに伴ってこのシステムを導入させていただくということになります。

○議長（杉浦辰夫） 16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） ありがとうございます。

先ほどの会計年度任用職員として職員を増やしたよという説明なんですけれども、4月から増やしているのであれば、6月の補正でもよかったんじゃないかと思うんですけれども、9月補正になぜなってしまったのかということと、それからデジタル教科書の使用料のほうは小学校のみに計上されていて、中学校のほうには計上されていないんですけれども、先ほどの説明でいくと、小学校だけでいいのか、もしくは中学校の部分はほかに計上されているのか、ちょっとその辺りを教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 秘書人事グループ。

○秘書人事G（杉浦崇臣） これまでの本市は、会計年度任用職員についても、4月から9月分については、別に育休ですとか、正職が不補充になった場合等の不測の事態に対応するために、秘書人事グループのほうで予算を持っておりますので、4月から9月分については、その予算で対応しておったと。10月分からそれぞれ所属のほうの予算で対応していくために、9月補正で対応していくということでございますので、よろしく願いいたします。

○議長（杉浦辰夫） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） デジタル教科書でございますが、小学校は今年の4月から新学習指導要領に移行しております、中学校は来年4月から移行しますので、今買うとすぐ改訂ということで具合が悪いものですから、中学校のほうは来年4月以降に買っていく予定でございます。

○議長（杉浦辰夫） 16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） すみません、ちょっとGIGAについて詳しくないので教えていただきたいんですけども、小学校のほうはもうこれで遠隔授業のためにデジタル教科書を使うということで、小学校のほうは早く導入をされる。いつから導入されるのかということと、あと先ほどのGIGAスクールサポーター業務委託料のヘルプデスクのところなんですけれども、ちょっとこれなかなかどういう感じで設置されるのかなというのが想像できないんですけども、ある会社に多分委託はされると思うんですけども、その会社がいろんな業務をやっている中で、その一部を高浜市が高浜市として業務をやるということになって、そうすると、こちらのヘルプデスク、こちらの会社というか、そちらのほうに保護者の方が電話をし、操作が分からないとか、いろんなことを聞くというか、そういう形になるのでしょうか。

○議長（杉浦辰夫） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） このデジタル教科書の使用料は小学校ですけれども、これは基本的には今回小学校に200万円ずつ割り当てが来まして、各学校ごとに何に使っていくかということを決めております。

ですので、このデジタル教科書といえども、全ての学校ではなくて、今回は高浜小学校と高取小学校でデジタル教科書を使って遠隔授業をしていくというようなことを試行的に始まるような、そういうふうなために買ってございまして、今後、そういう実績を踏まえて本当に必要ということであれば、全小・中学校のデジタル教科書を買っていくということでございますので、今回はその2小学校からぜひ学びの保障という形で使用していきたいということに基づいてやるものでございます。

GIGAスクールサポーターでございますが、簡単に言いますと、委託先の社員が携帯電話を持っておいて、各学校保護者、家庭に端末を持ち帰りますと色々な疑問が生じます。例えばWi-Fiに設定を変更するだとか、いろんなことが生じてきた場合に、その携帯電話に親御さんから直接電話をかけていただく。

基本的に、本来なら保護者から学校へ電話をかけて、教育委員会も含めて対応するんですけども、そういう手間を省きたいということで、基本的に保護者から直接そのサポーター、委託先のサポーターにつながる電話を開設しまして、そこで集まったQ&Aを基本的にはちょっと標準化して行って、将来ノウハウとして蓄積して行って、そのことをホームページにアップしていきますと、次年度以降入ってこられる方々もそれを使ってということになりますので、そういう対応で考えております。

以上でございます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 今の10款2項の小学校の簡単なことなんですけれども、GIGAスクールサポーターの業務委託の関係で、これ何人ぐらいというか、会社に委託するので何人ということとは関係ないのか、ちょっとそのあたりをお示してください。

○議長（杉浦辰夫） 内藤議員は福祉文教委員だと思っておりますから、常任委員会で聞いていただいたほうがいいと思うんですが、いいですか。

16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） 今、試行的に始めるという答弁があったんですけども、先ほどこよつといつぐらいからどのように始めていくか、いつからというところは何か予定とか決まっていることはあるんでしょうか。

○議長（杉浦辰夫） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） 児童・生徒用の端末が現在の予定では9月末に入ります。

それに合わせて、この使用料をできるだけ早期に、できれば10月ぐらいから使っていければと思いますが、できるだけ早期にデジタル教科書を使用する形で進めていきたいと考えています。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

質疑の途中ですが、暫時休憩いたします。再開は11時10分。

午前10時58分休憩

---

午前11時09分再開

○議長（杉浦辰夫） 休憩前に引き続き会議を開きます。

ほかに。

〔発言する者なし〕

○議長（杉浦辰夫） ほかに質疑もないようですので、これをもって議案第60号から議案第65号までの質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案第60号から議案第65号までについては、会議規則第36条第1項の規定により、お手元に配付してあります議案付託表のとおり各常任委員会に付託いたします。

---

○議長（杉浦辰夫） 日程第3 認定第1号 令和元年度高浜市一般会計歳入歳出決算認定についてを議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、ページ数及び款・項・目・節を明確にお示しいただきますようお願いいたします。

8番、黒川美克議員。

○8番（黒川美克） それでは、3点ほど質問させていただきます。

まず、主要成果説明書45ページのふれあいプラザの管理委託料について、2,767万9,542円が計上されておりますけれども、各プラザの内容についてお答えください。

それから2問目、主要成果説明書255ページの委託料3,597万6,854円がありますが、企画部長は、私の一般質問の答弁で重量の換算計数は2と答弁されていましたが、1,349.07トンの総排出量を720で割ると約1.874となりますが、精算はどのようになっていたのかお答えください。

それから3つ目、主要成果説明書255ページの負担金、1億6,070万4,000円がありますが、これには負担金の名称が載っているだけで内容がよく分かりませんので、これの総排出量と、これは上のあれと一緒に4社ですか、そこと同じ業者に処理をお願いしているという説明がありましたけれども、その排出量と重量と換算計数についてお答えください。

それから、精算はどうなっているのかお答えください。

以上3点。

○議長（杉浦辰夫） 総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） まず、ふれあいプラザの管理委託の内容というようなことですが、南部第2ふれあいプラザにつきましては、指定管理ということで管理に伴う一式を丸々委託として計上しておりました。そのほか吉浜ふれあいプラザ、翼ふれあいプラザ、高浜ふれあいプラザにつきましても管理に伴う管理人の賃金やキャッチやNHK、そういったような使用料、あとは空調だったり、自動ドア、そういったような設備関係の保守委託料や消耗品等々を計上した委託料となっております。

○議長（杉浦辰夫） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） 主要成果の255ページの青少年ホーム管理事業のまず（1）委託料のところで重量換算計数についてのお話でございます。

重量換算計数というのは、一般質問のところでも何度かお話しさせていただいておりますが、処理費用あるいは運搬費用を積算するための計数ということで、体積のほうが分かっておりますので、その体積を重さに換算するための計数ということで、見込み金額を出すに当たって2.0という計数を用いて算定をしたというところでございます。

ですので、実績につきましては議員今質問の中でおっしゃいました金額割る数量、実績数量で割り返すと1.874になるというところでございます。

それからもう1点、（2）の負担金についてでございますけれども、この負担金の内容につきましては、発生土の運搬費処理費のほか、発生土を搬出するための経路、仮囲い等々の費用も含めてこの金額になっております。排出量の実績につきましては、5,354.08トンでございます。

それから、委託のほうの運搬処理業者と同じ業者かということでございますけれども、同じ業者も含んでおります。

○議長（杉浦辰夫） 8番、黒川美克議員。

○8番（黒川美克） すみません、立米数もお答えください。

○議長（杉浦辰夫） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） 支払いのほうは重さで払っておりますので、体積というところの実績のところは把握をしておりません。

○議長（杉浦辰夫） 8番、黒川美克議員。

○8番（黒川美克） 内容がよく分かりませんが、実際に持っていったのは排出した重量は分かりますよね。ところが、それを掘ってのしてあるのは、重量で計算するんじゃなくて立米で計算してあるはずですよ。ですから、最初のときに私が聞いてますのは、元ときは4,070立米で当初は一括して入札をしようと、負担金で払おうと、それが県のほうの指導で4,075、3,350と720、この数字に分けて搬出をすると、そういう説明があったわけじゃないですか。ですから、私は立米数をはかってくれと言ったら、立米数をはかれない、こういう話だったわけですよ。

そうすると、実際に積み込みだとか、それから運搬だとか、そういったのはトンで計算するんじゃなくて、立米で計算するはずですので、実際にその5,354.08というのがいくつの立米数になったのか、計算上で結構ですので、最終的には当初の数字、これ変わっているはずですから、その辺のところを明確にお答えください。

○議長（杉浦辰夫） 企画部長。

○企画部長（深谷直弘） 立米数ということで、一般質問のところでも少しお答えをしておるんですけども、当初、民間事業者さんのほうが出された見込量は、先ほど今、議員御質問の中で言われた量をおっしゃっておりますので、そこを全て掘り出されたものがどれだけあったかという、立米の把握をしていないんですね。

運搬も先ほどもおっしゃったように、トン当たりの管理。それから、処分の産廃が混じった土についてもトンの管理をしていますので、重さで管理をしていますので。

見込みの立米数ということであれば、例えば1.87という、これちょっとごっちゃになっちゃいますけれども、720立米のいわゆる立米数を割返したときに出てくる数字ですね、換算計数。それをお話をしておりますように、いわゆる10トンのダンプトラックは、一般的には物の中身にもよっても違いますよ、4.7から5.2立米大体積めるんです。それぐらいの中で立米数を何車運んだからこれぐらいの量だろうという見込みは出せますけれども、今おっしゃるように、どれだけの立米数があったかというのは、物は全部重さで処理をしていますので、見込みの量しか分からないということになります。

○議長（杉浦辰夫） 黒川議員に申し上げます。

黒川議員の今回の質疑の内容が、過去の一般質問でもやられていた同種の内容が繰り返されておると思いますので、質問の内容を変えていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

8番、黒川美克議員。

○8番（黒川美克） 実際に出した立米が5,354.08というのは計量していますので、それは確かだと思うんです。だけれども、もともと3,350だったものが5,354.08だというと、約1.6の換算計数になるんですね。これは先ほどから企画部長が言ってましたけれども、土によって重さは違うということは、そのとおりなんですけれども、実際にその辺のところ、そういうふうに重さは分かっているけれども、搬出量は分かっている。片方のほうは搬出量は量っているから、それはそういう形で出てくる、そういうふうに片方は量っているけれども、片方は量っていない。それをきちっとしてくれないから、こういったいろいろな疑問が出てくるわけです。その辺のところをこれからきっちりやっていただくようお願いしておきます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） まず、決算審査意見書についてお伺いします。

19ページ、16款の財産収入ですが、この中で不動産の貸付収入と土地売払収入があります。

〔「何ページですか」と呼ぶ者あり〕

○15番（内藤とし子） 19ページと言いました。財産売払収入が1,705万5,928円増加している。不動産貸付収入が2,652万円余り、土地売払収入が1,912万円余りということなんです、この財産売払収入の大きいところでいいので、内容を教えてください。

それから、28ページの……

〔「主要成果ですか」と呼ぶ者あり〕

○15番（内藤とし子） いいえ、決算審査意見書です。28ページの土木費のところ、都市計画費1億1,153万9,873円増加に対して、住宅費が5,603万5,074円の減少とありますが、この住宅費というのは、どういうものなのかお示してください。

○議長（杉浦辰夫） 監査委員事務局長。

○監査委員事務局長（山本時雄） 申し訳ございません。決算審査意見書のほうは、数値のほうを全部確認をさせていただく中で、主な数値、主な内容という形で上げさせていただいております。個々にそれがどうなったかというところまでは、ちょっと今、資料ございませんので、申し訳ないですが。

○議長（杉浦辰夫） 15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 分かりました。

それでは、一般会計に入りますが、まず一般会計の歳入についてですが、この年はどのような……

○議長（杉浦辰夫） ページ数は何ページになりますか。

○15番（内藤とし子） 4ページをお願いします。主要成果説明書の一般会計。

去年、この年についてはどのような歳入の工夫をしたのか、増収の工夫はどのようにされているのか。それから、資本金が10億円以上の法人への不均一課税の導入についてはどのようにになっているのかお示してください。

○議長（杉浦辰夫） 内藤議員、ある程度まとめて言っていただくようにお願いします。

○15番（内藤とし子） 22ページ、固定資産税のところですが、40億8,452万4,375円ということになっています。これと次の23ページですが、都市計画税と合わせて、都市計画税が7億8,831万4,249円で、合計で48億7,283万8,624円となりますが、これは非常に重い負担になっていますが、市が都市計画税は決められるといいますか、引き下げることできると思うんですが、この点でのお考えはどのようにになっているのか。

それから、22ページの償却資産の中で市長が価格等を決定するものというところがあります。678名の方で6,273万4,999円と決定価格がありますが、これはどういうところなのか、まずお示してください。

○議長（杉浦辰夫） 答弁を求めます。

総務部長。

○総務部長（内田 徹） まず、主要成果4ページの歳入確保の工夫ということでございますけれども、これは例年起債で活用できるものは活用できる、そういった事業を優先的に取り入れていく、また補助金についても同じように活用できるものは、そういった事業については優先的に事業として取り入れていく。

あと、令和元年度ですけれども、歳入確保ということで、財政調整基金から繰り入れを行う、そういった面で歳入の確保に努めたところであります。

○議長（杉浦辰夫） 税務グループ。

○税務G（亀井勝彦） 3点御質問いただいたと思いますが、法人の資本金10億円以上への不均一課税の状況につきましてですが、予算特別委員会でもお答えさせていただきましたが、不均一課税を導入するに当たりましては、特別財政上の事情から必要となります。

また、不均一課税により超過課税をする場合については、まずもって納税義務者の方の同意です。そちらのほうが必要となってまいります。

法人市民税につきましては、利益に対しまして課税される法人税割と資本金及び従業員数によって課税される均等割がございます。資本金にとりましては、均等割において既に9段階、5万円から最大300万円という形で資本金に応じた課税がされておりますので、高浜市としましては、資本金10億円以上の法人に対する法人税割の不均一課税については導入する予定はございません。

また、2点目の都市計画税の税率につきましてですが、議員おっしゃるとおり、都市計画税の税率につきましては、条例で定めて市のほうで率のほうを決定することができます。

先ほどの基金条例のところでもいろいろ質疑等の回答がありましたが、今後下水道事業及び排



水事業に対して都市計画事業が予定されておるといことで、今回基金も制定されますので、現時点におきましては、都市計画税の利率の見直し等については考えてはおりません。

3点目の主要成果22ページの償却資産の市長が価格等を決定するものにつきましては、償却資産ですので、家屋以外の構築物等になります。ここで市長が定めるものというのは、一般的なものでございまして、総務大臣配分というのが県をまたぐ償却資産、例えば鉄道で考えていただくと線路等は県をまたいでおりますので、そういったものについては総務大臣。知事配分につきましては、同一県内で複数の市町村にまたがるようなものはそれぞれ総務大臣、愛知県知事のほうで決定しますので、それ以外の償却資産につきましては市長のほうが価格を決定するというものでございますので、具体的なものという、全般的なものになりますので、御理解のほうお願いいたします。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 33ページ、17款の寄附金についてですが、その中で総務管理費の寄附金で教育振興・子育て支援基金指定寄附金が4万3,643円出ていますが、これについては10月から始まったポートピアのことにする寄附金かと思いますが、それはどうなのか。

それから、37ページの21款市債についてですが、ここで借入れ利率が0.55だとか、0.7だとか、ちょっと少ないですが、0.3とか、いろいろあるんですが、これはどのような関係でみんな一緒にとすることはもちろん考えてもおりませんが、どうしてこの中では高くなっているのか、ちょっとその点でお示しをいただきたいと思います。

それから、56ページ、2款総務費の1項11目5のところ、市役所本庁舎整備事業1億6,305万3,862円出ていますが、これ大変高額な金額を20年間にわたって支払い続けるということなのですが、皆さんの意見としては、手狭なリース市役所だと、新庁舎の建設に当たっては市民の利便性が考慮されていないんじゃないかという声が多くあります。

市民の居場所が本当に落ち着けるところがなく不便であるという声があります。これ、いつになったら、何といいますか、20年の契約ですから、20年たったらどうするのか、その点での考えをお示してください。

それから、67ページ、2款総務費、1項13目広域行政費、リニア中央新幹線建設促進愛知県期成同盟会負担金が6,000円出ています。これは毎回言っているんですが、今非常に静岡で大きな問題になっていますし、春日井でしたか、一宮でしたか、地面の下に大きな穴が空いていて、そういうところも通るんじゃないかというような話があつて、大変問題が山積しています。これに対して、本当にこういう費用を出しているということは、協力していくということですので、これをやめるべきだと思いますが、その点でお願いします。

83ページ、2款総務費の2項1目市税賦課事業で、委託料で窓口業務委託が高浜市総合サービ

ス株式会社が出ています。1,856万4,040円出ていますが、これは窓口業務というのは、市の職員がきちんと窓口業務をしながら、市民の意見をちゃんと把握するということが大事になってきますので、これは非常に問題があると思っていますが、どのように考えてみえるのでしょうか。

とりあえずここまでお願いします。

○議長（杉浦辰夫） 行政グループ。

○行政G（板倉宏幸） 主要成果56ページの2款1項11目、市役所本庁舎整備事業の御質問についてお答えさせていただきます。

議員さんの御意見の中で、市民の居場所、落ち着ける場所がないのではないかというような御質問がございました。こちらにつきましては、おとし完成いたしました会議棟にいわゆるチャレンジスペース等の休憩場所等を設けております。若干コロナの関係で、待合いの椅子を間引きするなど、若干スペース的に以前より座れる場所が減っているところもございますが、会議棟等活用して休憩等、また待合い等に使っていただければというふうに考えています。

また、20年たったらどうするのかとの御質問でございますが、考え方としましては、庁舎の再リースや取り壊し等が考えられます。その辺につきましては、20年、15年ですけれども、たつ中で、そのときの情勢等を踏まえて考慮していくものというふうに考えております。

○議長（杉浦辰夫） 総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） 主要成果33ページの教育振興・子育て支援基金指定寄附金4万3,643円ですが、そちらにつきましては、同年会くすのき様から広く教育や子育てに使ってほしいというような形で寄附を頂いたものでございます。

御質問の中にありましたポートルースチケットショップからの環境整備協力費については、諸収入で収入を受けまして、それを基金に積み立てるという形になっていますので、寄附金という形で受けているということではないので、よろしく願いいたします。

続きまして、総合政策グループの回答するところで、67ページのリニア中央新幹線建設促進愛知県期成同盟会の負担金ですが、こちらにつきましては、リニアの開業が東海地方にもたらす影響、いわゆるリニアインパクトにつきまして、ものづくりの企業が集積している三河地方にとっても、リニアが完成すればビジネスの交流の活発化、地域経済の活性化が図られるという考えから、引き続き愛知県と県下経済界と連携して建設促進を図ってまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（杉浦辰夫） 財務グループ。

○財務G（竹内正夫） 主要成果の37ページの市債の借入れ利率の件でございます。

借入れ利率につきましては、借入れ先でありますとか、事業の内容、償還期間などによって利率は変わってまいります。一部入札等を行って利率を決定したものもあります。

よろしく願いいたします。

○議長（杉浦辰夫） 税務グループ。

○税務G（亀井勝彦） 主要成果83ページの市税賦課事業の窓口業務委託につきましては、総合サービスのほうに窓口業務を委託しておりますが、委託しております内容につきましては、総務省が示しております委託の範囲内で行っております。

また、個人情報の取扱いについても、個人情報を取り扱う委託業者と同様に、個人情報の特記事項を含め契約をしておりますし、議員もよく税務のほうにお越しいただきますが、例えば課税の内容ですとか、納税相談につきましては市の職員のほうで適切な対応をしておりますので、そのところは御理解いただきますようお願いいたします。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） すみません、ちょっと戻って139ページ、3款民生費の2項2目臨時職員の賃金のところですが、このフルタイム保育士というのが、今、吉北しか公立保育園がないわけですが、このフルタイム保育士と短時間保育士、パート職員、これフルタイムの保育士というのは、正規とはまた違う保育士なのかどうか。まずそこをお示してください。

それから、151ページのみどり学園の民生費、2項3目ですね。7のみどり学園運営事業のところ、平成31年4月1日から令和6年3月31日まで指定がされているんですが、年間延べ利用者数も4,030人と大変多いんですが、これが高取小学校の給食室等の関係で、令和4年ですか、5年ですか、移動になるということを知りましたが、これはどのようにになっているのかお示してください。

○議長（杉浦辰夫） 内藤議員、今、みどり学園の件については、決算の内容ではないののではないかとと思うんですけれども、いいですか。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） みどり学園がどうなるかということは、利用してみえる方たちにとっては大変大きな問題ですので、お聞きしたいと思います。

○議長（杉浦辰夫） 決算の範囲外だと思いますので、お願いします。

答弁をお願いします。

こども育成グループ。

○こども育成G（磯村順司） 139ページの臨時職員の関係でございますけれども、このフルタイム保育士というのは、この臨時職員の賃金に上げているところでございますので、いわゆる当然ながら正規職員とは違うというところでございます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 違うということになりますと、フルタイム保育士が平均人数、これ平均

人数というのは毎日3人なのか、1カ月に3人なのか、ちょっと分かりませんが、みえるということなんですが、正規職員の中にこういう方たちがいてやっているということは、フルタイムで働いているわけですから、正規で雇ってもいいかと思うんですが、その点ではどうなのでしょう。

○議長（杉浦辰夫） こども育成グループ。

○こども育成G（磯村順司） 育休の場合ですと、そういった形で職員を確保するという場合に、フルタイムの職員を確保したりということもありますので、その状況に応じて雇用しているということでございます。

○議長（杉浦辰夫） 内藤議員、質問をある程度まとめてお願いいたします。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 139ページのフルタイムの保育士ですが、これ3人が出産のための職員、全員が出産のための職員かどうか、お示してください。

それから、保育園別の人件費の割合を資料で調べさせていただいたんですが、南部保育園が66.26%、よしいけ保育園が64.20%、高取こども園が68.53%でした。保育園というのは、人件費がほとんど割合を占めると言われていますが、こんなに人件費の割合が低くて大丈夫かという心配があるんですが、その点でお示してください。

まず、そこまでお願いします。

○議長（杉浦辰夫） いいですか、次あるのであれば、まとめてお願いします。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） では次、172ページの4款衛生費、1項3目2の地域医療振興事業、3億円余りの補助金が出されています。病院事業運営費補助金、それから経営基盤強化対策事業補助金、地域医療・救急医療振興事業補助金、病院施設設備整備費補助金、それから移転新築に関する補助金として2億4,000万何ぼ出てますし、移転新築の補助金が2億円、移転新築費補助金の残高に対する利子相当額が1,304万円、経営基盤強化補助金が3,000万円、一般病床開設するために要した費用ということなんですが、このような一民間企業に莫大な補助金を出していることについて、どのように考えてみえるのか、お示してください。

それから、7款商工費、204ページ、いきいき号循環事業ですが、改善がどのように進んだのか、お示してください。

それから、10款教育費、229ページですが、10款の1項3目、児童生徒健全育成事業のところ、学校司書賃金と載っています。115万1,700円ですか。この司書というのは、何人増えてどこの学校でどのような成果というか、結果が出ているのか。ぜひ、もっとほかの学校にも増やしてほしいと思っているんですが、いかがでしょうか。

それから、243ページの10款教育費の4項幼稚園費、1目幼児教育費の中で2の幼稚園維持管

理事業の中に、ここには載ってないんですが、幼稚園にも発達障がいのお子さんはみえると聞いていますが、何人ぐらいの子供さんが一緒に保育をしてみえるのか、お示してください。

それから248ページ、10款教育費の5項2目ですね。生涯学習施設管理運営事業の中で、大山会館長寿命化計画基礎調査業務委託というのがあります。281万8,800円になっていますが、大山会館も吉浜や高取に次いで多い人数になっていますが、現在利用ができない状況になっています。こんな状況にしてしまうと、やっぱり建物というのは使えないと老化も早くなると聞いています。利用できる会場も非常に市内では少なくなっていますし、開ける考えがあるのかどうかお示してください。

それから251ページ、10款5項3目で、(3)の補助金で高浜の成人式実行委員会27万円となっていますが、これまで30万円だったのではないかと思うんですが、この点で、なぜ減ったのかお示してください。

以上です。

○議長（杉浦辰夫） 質疑の途中ですが、暫時休憩いたします。再開は13時。

午前11時55分休憩

---

午後0時59分再開

○議長（杉浦辰夫） 休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁から。

こども育成グループ。

○こども育成G（磯村順司） まず、質問のあった順番にお答えさせていただきます。

まず、139ページの臨時職員のフルタイムの人数、3人の内訳ということでございますけれども、そのうち2人が育休代替という形で、1人が今は現在1歳児の担任をしているということでございます。

続きまして、資料14の民間園の人件費割合というところでございますけれども、こちらの事業費収入総額分の人件費支出ということで、事業費収入総額は人件費支出にかかわらず、子供の数によって歳入というのは変わってきますので、一概にこの率が上がったから人件費がという話ではない。あくまでも目安として捉えていただきたいと思います。その中で、人件費につきましては、園によって年齢構成等々ありますので、そういった中で総合的にこの率が出ているというものでございます。

いずれにしても、民間園といろいろな合同園長会等々の協議の中で、人の確保等を含めて、職員からこういう問題があるとか、そういったこともいろいろ情報を耳に入れながら運営しておりますので、またそういったところについては、連携を密にしながら、こういったところについても民間園と協議しながら進めていきたいと考えております。

最後に、243ページの幼稚園維持管理事業の中におきまして、発達障がいというところで御質問がありました。

今、この令和2年度4月1日現在におきまして、いわゆる加配対象児として在園している人数でございますけれども、吉浜幼稚園が28人、高浜南部幼稚園が15人というところでございます。

以上です。

○議長（杉浦辰夫） 健康推進グループ。

○健康推進G（内藤克己） 主要成果172ページ、173ページ、地域医療振興事業の補助金についての御質問でございますが、地域医療を継続するために必要な補助金であると考えておりまして、医療法人豊田会との協定書に基づいてお支払いしております。

以上です。

○議長（杉浦辰夫） 経済環境グループ。

○経済環境G（田中秀彦） 主要成果204ページ、コミュニティ交通いきいき号循環事業についてお答えいたします。

いきいき号については、利用者アンケート、今年の1月、今後10月に実施を考えておりまして、その結果、年間の利用者、乗降データといった要素を踏まえて検討しております。今後の社会情勢を踏まえた公共交通の専門的な視点が必要であると現在感じております。

しかし一方では、今から新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、次回の公共交通会議の実施を年度内に1度実施する方向で検討に入っております。

加えて、国から示された新しい生活様式には、公共交通機関の利用に関する項目もあり、いきいき号の運行スタイルに専門家の御意見を反映させる必要があると感じております。

今後、新型コロナウイルスの拡大状況を踏まえて、刈谷市コースを含め、他の市内4コースについても、中長期的な視点に立って見直し等を進めてまいりたいと考えております。

○議長（杉浦辰夫） 学校経営グループ。

○学校経営G主幹（鈴木 剛） 主要成果229ページ、学校司書についてお話をさせていただきます。

令和元年度に学校司書を2名、高浜小学校に配置をいたしました。高浜小学校では、司書教諭や担任との連携により学習環境が整い、主に子供たちの2つの力を伸ばすことにつながったと考えています。

1つが、読書の力であります。

子供たちが利用しやすいように配架の仕方を工夫したり、ブックトークというものを行ったりすることによって、子供たちは読書の幅を非常に広げています。このようなことで、1日平均の貸出し冊数が前年度に比べて約50冊伸びたというようなことも報告を受けています。

2つ目は、調べ学習の力であります。

授業で使う統計資料や新聞、画像、動画など、多様な学習資料を整えたり、子供たちへ資料の使い方を説明したことによって、積極的に図書館を活用しようとする子供たちの姿が見られるようになっていきます。

令和2年度、今年度であります、高浜中学校のほうにも学校司書を1名配置をしております。高浜小学校での取組の成果をより多くの学校にこれから広めていきたいと考えています。

○議長（杉浦辰夫） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） それでは、主要成果の248ページ、大山会館基礎調査業務委託に関して、建物、今後開ける考えがあるかという御質問でございましたが、これについては、過日の一般質問でお答えしたとおりでございます。

251ページの成人式の補助金に関してですが、これは昨年度の決算特別委員会でも同じ質問をいただいておりますけれども、平成29年度の当初予算編成におきまして、補助金を10%削減という方針がございまして、そこから現在の27万円になっております。

高浜市の成人式につきましては、毎年二十歳になる当事者が成人式をやるか、やらないかということも含めて、どんな内容でやっていくか、自ら考えて作り上げていくという方針で進めております。成人式の参加の主体で毎年変わるわけですが、その毎年度の内容、それから参加費はどうやってやっていくのか、どう運営していくのか、そういったこともトータルで考えていくということです。

現段階で予算が特に不足していると、そういうところもございません。

以上でございます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 成人式の件ですが、10%下げるといってお話が出てそうになっているという話ですが、今後また引き下げていく考えがあるのかどうか、その点と、司書の件ですが、今、高浜小学校に1名配置していただいたということなので、読書や調べ学習などが進んできているというお話なので、前に学校へ行って聞いたときも、担任を持っていて司書教諭の資格を持っているという方が今までやってみえたそうなんです、それではやっぱり司書の仕事が思うようにできなくて、子供たちに仕事を任せるといふか、いろんな分野でやってもらって、何とか仕事を進めているというお話でした。

司書というのは、本当に司書の仕事だけ、司書の仕事だけという、仕事が少ないようなんですが、本当に司書の仕事をきちんとやっていただくように、もっと増員していただきたいと思っています。

それと、次に介護保険の関係なんですけど……

すいません。255ページの青少年ホーム、教育費の5項4目、青少年ホーム管理事業のところ

でちょっとお尋ねしたいんですが、この委託料というのは、5つの業者に頼んだ分が3,597万何  
がしかの金額だと思うんですが、この委託料と他の負担金、1億6,070万4,000円、これはどのよ  
うに仕事がされたのか、ちょっとお示してください。

○議長（杉浦辰夫） 後はいいですか。まとめて。

○15番（内藤とし子） いいです。

○議長（杉浦辰夫） 答弁をお願いします。

総務部長。

○総務部長（内田 徹） まず成人式の補助金を今後削減をしていくのか。今、決算認定のお話  
ですので、今後の予算編成の話になりますので、端的に申し上げます。今、経常経費の一般財源  
の見直しを進めております。3年先、5年先といった、そういったところを踏まえて、これは  
個々の事業をどうするかということではなくて、全般的にそういった見直しは行っていくことを  
考えております。

○議長（杉浦辰夫） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） 主要成果の255ページ、青少年ホーム管理事業について、委託  
料と負担金の御質問をいただきましたけれども、まず、委託料につきましては、これは市の解体  
工事で生じた発生土の処理等に要した費用ということでございます。

負担金のほうの支出でございますが、これはコパンスポーツクラブの建設事業の中で生じた発  
生土についての運搬処理に要する費用について支出したものでございます。

以上です。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

〔発言する者なし〕

○議長（杉浦辰夫） ほかに質疑もないようですので、これにて認定第1号の質疑を終結いたし  
ます。

---

○議長（杉浦辰夫） 日程第4 認定第2号から認定第6号までを会議規則第34条の規定により  
一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、認定第何号であるかとページ数及び款・項・目・節を明確にお  
示しいただくようお願いいたします。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 認定第5号についてお聞きします。

介護保険は、来年度第8期の計画を立てると思うんですが、今、待機者数も127人と、滞納額  
も166人おって、680万円何がしか出ているんですが、これをどのようにされていく考えなのか。

それから、国の調整金というのが……



○議長（杉浦辰夫） 決算ですので、予算ではありませんので。

○15番（内藤とし子） 304ページですが、国の調整金というのがあるんですが、これは今、何%出ているのか。

それから、高浜では上乘せ、横出しとか、介護支援券とか住宅改修とか、施策をやっていただいているんですが、そういう施策を福祉施策でやる考えはないかどうか、お示してください。

○議長（杉浦辰夫） まとめて。

○15番（内藤とし子） では、次に認定第6号、年金収入が後期高齢者医療なんです、65歳以上……

○議長（杉浦辰夫） ページ数は何ページになりますか。

○15番（内藤とし子） ごめんなさい。341ページ。

1割負担者が4,550人で、3割負担者が382人、合計で4,932人みえるということなんです、非常に後期高齢者医療、減税分がなくなったわけではなくて、9割から8割とか、縮小されまして、影響を受けた人がかなりいると思うんですが、どれぐらいみえるのか、分かったらお示してください。

それまでお願いします。

○議長（杉浦辰夫） 介護障がいグループ。

○介護障がいG（野口恒夫） まずは、調整交付金の御質問をいただきました。

決算書の260ページを御覧ください。令和元年度の国からの調整交付金額は7,397万4,000円で、率としましては3.05%で、前年と同率というふうになってございます。

もう一つ御質問いただきました上乘せ、横出しのサービスを市の福祉施策で行ってはどうかという御質問をいただきました。

現在、上乘せ、横出しというのは、国の施策に、ルールに基づいてやってございますので、市独自でその分を見るところは今のところ考えておりません。

○議長（杉浦辰夫） 市民窓口グループ。

○市民窓口G（中川幸紀） 後期高齢者医療制度のほうでは、医療給付等の財源を確保するために、2年ごとに保険料の見直しを行っております。

減免につきましては、災害により住宅家財に著しい損害を受けた場合、事業の休廃止により収入が著しく減少した場合に該当するという形にはなるんですが、実際に対前年度と比較しましてどれぐらい変動があったかという話になりますと、1割負担につきましては66人ほど増えておりまして、3割負担のほうにつきましては8人ほどという形になります。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

〔発言する者なし〕

○議長（杉浦辰夫） ほかに質疑もないようですので、これにて認定第2号から認定第6号まで

の質疑を終結いたします。

---

○議長（杉浦辰夫） 日程第5 議案第58号 令和元年度高浜市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について及び認定第7号 令和元年度高浜市水道事業会計決算認定についてを会議規則第34条の規定により一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、認定第7号の質疑に当たりましては、ページ数等をお示しいただくようお願いいたします。

質疑はないですか。

〔「議事進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉浦辰夫） 質疑もないようですので、これにて議案第58号及び認定第7号の質疑を終結いたします。

---

○議長（杉浦辰夫） 日程第6 認定第8号 令和元年度高浜市下水道事業会計決算認定についてを議題とし、総括質疑を行います。

なお、認定第8号の質疑に当たりましては、ページ数等をお示しいただくようお願いいたします。

〔「議事進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉浦辰夫） 質疑もないようですので、これにて認定第8号の質疑を終結いたします。

---

○議長（杉浦辰夫） 日程第7 決算特別委員会の設置を議題といたします。

お諮りいたします。

議案第58号及び認定第1号から認定第8号までにつきましては委員会条例第6条の規定により、8名の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、会議規則第36条第1項の規定により、これに付託の上、審査することにいたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉浦辰夫） 御異議なしと認めます。よって、議案第58号及び認定第1号から認定第8号までにつきましては、決算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。

ただいま設置されました決算特別委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第8条第1項の規定により、荒川義孝議員、神谷利盛議員、岡田公作議員、長谷川広昌議員、柳沢英希議員、北川広人議員、今原ゆかり議員、倉田利奈議員、以上8名を指名したいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉浦辰夫） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました8名の議員を決算特別委員会委員に選任することに決定いたしました。

以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

お諮りいたします。

決算特別委員会、常任委員会の開催により、9月8日から9月24日までを休会といたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉浦辰夫） 御異議なしと認めます。よって、9月8日から9月24日までを休会とすることに決定いたしました。

再開は、9月25日午前10時であります。

本日は、これをもって散会といたします。長時間御協力ありがとうございました。

午後1時21分散会

---